

芙蓉



社会福祉法人 芙 蓉 会

<https://www.fuyoukai.org>

〒417-0001 静岡県富士市今泉2220番地 TEL〈0545〉55-1118 FAX〈0545〉55-1119

| | | | |
|------------------|--------------|------------------------------|--------------|
| 児童養護施設 ひまわり園 | 0545-52-0402 | 通所介護 デイサービスセンターみぎわ園 | 0545-55-1800 |
| 地域小規模児童養護施設 ひろみ | 0545-22-1281 | 通所介護 ふようデイサービスセンター | 0545-52-1397 |
| 乳児院 恩賜記念みどり園 | 0545-53-5665 | 居宅介護支援事業 ふよう居宅介護支援事業所 | 0545-52-5500 |
| 企業主導型保育施設 さくら保育園 | 0545-55-1118 | 地域包括支援センター 富士市吉原西部地域包括支援センター | 0545-30-8324 |
| 特別養護老人ホーム みぎわ園 | 0545-55-1800 | 在宅介護支援センター みぎわ園 | 0545-55-1811 |
| ショートステイ みぎわ園 | 0545-55-1877 | 看護小規模多機能 みぎわの里 | 0545-30-7952 |



天使降臨 衆望の福祉に

社会福祉法人 芙蓉会 監事 勝又 長見

富士市の要介護認定者数は3,902名(令和4年3月時点)で要介護4の妻はその一人です。ほとんどのことが自力で出来ません。私を頼りにしているので期待に添うべく食事、着替等の世話を日々行なっています。以前は妻の介護に不満や恨み言を抱えて嫌々世話をしていました。後に転機をもたらしたのは民生委員時に聴いたある講演会の話でした。「皆さんは家族の介護に不満があると思いますが、当の本人の立場になって考えたことがありますか。今まで出来ていたことが出来なくなっていく本人の気持ちはいかばかりか。今後への不安、苛立ち、怖さ等を考えたことがありますか?」これを聞いて妻中心へと考えを改めました。私が定年まで職務を全うできたのは妻の御蔭です。その報恩と思えば苦にならず今では生きがいにしています。排泄後に蒸しタオルで清拭すると「お父さん悪いね。ごめんね。」の言葉を耳にすると胸が詰まります。

排便はバナナ三本ほどありました。昼食がなかなか進まなかったです。テレビ体操では立ち上がって参加し、一生懸命に体を動かしたこと、「やりすぎちゃった」と爆笑。午後の運動会では、玉入れやパン食い等を皆さんと一緒に楽しまれました。笑顔も多く他の利用

者さんを応援してくださいました。

上記はみぎわ園での妻の生活の一コマです。妻をつぶさに観察している職員の連絡カードで知り得た情報です。記述外の恩澤は推して知るべしです。家では何もせず椅子に座ってテレビの前の女王です。みぎわ園での行動には驚きです。利用者の行動化への職員の支援に心から敬意を表します。排泄等の介助に加えて意欲的な行動に導く技はプロ技術の本領を遺憾なく発揮しています。家族ですら躊躇する排泄などの介護を笑顔で世話する職員の方々は正に天使です。芙蓉会に派遣されたエンゼルなのです。経営理念の隣人愛が天使の根底にあり、利用者への敬愛が笑顔で心の籠もった応接遇となっているのです。

今日も女房を送り出します。職員の方には「今日もよろしくお願ひいたします。」

衆望—多くの人の期待、人気、信望(多くの人に信頼、尊敬されること)。
降臨—神仏などが天から地上に下って姿を現すこと。

★みぎわ園★

春のお習字

何度も練習されて一生懸命取り組まれていました。

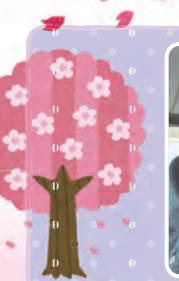


チーズ・シーチキンなど色々な具が入ったたこ焼きです。実はタコが入っていないのですが…くるくると回し焼いてソースの香ばしい匂いに皆さん「おいしそう」と笑顔!上手に出来ました。

お花見ドライブ

厚原スポーツ公園に行ってきました。あちらこちら、眺めながらドライブも楽しみ入居者様の笑顔をたくさん見ることができました。

桜吹雪が舞う中、楽しい一時を過ごせました。



★ふようデイサービスセンター★

～お花見～

今年も桜が咲いたので皆さんで見に行きました。「立派だね」や「綺麗だね」と言いながら楽しんでいました。最後は桜をバックに皆さんで記念撮影～♪とても素敵なお笑顔です。



～結婚式～ HAPPY WEDDING

花の飾りに包まれ職員の結婚式が行われました。これから何が始まるのか、皆さんわくわくドキドキ待っています。沢山お祝いをし、ブーケももらって楽しい一日となりました。



～BBQ～

お肉だけでなく、焼きそばも一緒に焼きました。「美味しいね～！」と言いながらお腹いっぱいになるまで召し上がっていました。また、率先して焼く係りのお手伝いもしてくれました。



★みぎわの里★

お花見



4月は桜、5月はバラとお花見に行って来ました。久しぶりの外出と綺麗な花々に皆さんの笑顔が絶えませんでした。



桜茶会

皆さんと作った白玉団子入りお汁粉と桜茶で春を満喫しました。



味噌作り教室

今年は地域の方々も参加され深澤味噌屋さんご指導の下「味噌作り教室」が開催されました。愛情をたっぷりこめて作った味噌。出来上がりが楽しみです。



母の日



手作りサイダーフルーツポンチと職員お手製のプレゼントでお祝いをしました。今年もお母さんの素敵な笑顔を頂きました。



★デイサービスセンターみぎわ園★

お花見

3月に行いました。満開の桜をみると皆様自然と笑顔が出てきます。



おやつフレクレーション

今回は桜餅とプリンアラモードを作りました。一生懸命作り、美味しいおやつが出来ました!



★ひまわり園★



園内保育のひまわり幼稚園では未就園児が公立の幼稚園に行くまでの心と生活の安定を図る環境づくりをしています。今年度は園児3人から始まり、7月現在6人が元気に通園しています。園内では子どもがやりたいことにチャレンジしてのびのび過ごしたり、園外では自然に触れ合ったりして過ごしています。



虫歯予防デーのはみがき教室では手鏡を見ながら磨き残しをcheck!



菅沼さんの畑にじゃがいも掘りに行ったよ



園外保育で大きなたけのこ掘れたよ



節分では小おにになってお部屋を訪問したよ



★ひろみ★



毎年、県内の施設の児童を対象とした、絵画展が静岡で開催されています。各施設で選出して、出展されます。今年はひろみの小学生女子の絵が園内で選ばれて、「佳作」を頂きました。

大好きな担当のお兄さんを描いた可愛らしい絵です。選出された子ども達は展示会と表彰式に出席しました。

第41回 静岡県児童文化奨励公認展表彰式



★みどり園★



こどもの日



お花見

公園でのお花見を予定していましたが、残念ながら雨で中止になってしまいました。

みんなで桜の花の製作をして、窓に満開の桜を咲かせました。作った桜の木の下にレジャーシートを敷いてお昼ごはん♪

たくさんおかわりをして食べ、楽しい時間になりました。



ここへ
くっつけよ



こどもの日

こいのぼりの製作をしました。手形スタンプをしたりシールを貼ったりしてさまざまな柄の可愛いこいのぼりができました!

昼食は、こいのぼりのオムライス。みんな「こいのぼり!」と喜んで食べていました。



歯の衛生週間

かばの形をした画用紙と牛乳パックでできたコップにシール貼りやお絵描きをした後、画用紙の絵についている虫歯を歯ブラシで磨いてきれいにしました。「ここにも虫歯いるー!」と上手に歯磨きをしていました。

昼食では、かたつむりのご飯やカエルの蒸しパンに大喜びでした♪



★さくら保育園★

イースター

4月の行事でイースターを楽しみました。折り紙で作ったウサギに顔を描いたり、たまごを飾り付けたり...。たまご探しゲームでは、お部屋に隠れたたまごを見つけては「あったよ!」と大興奮でした。ゼリーが入っていて、おいしくいただきました♡



うさぎが
できた～



令和4年度 社会福祉法人芙蓉会 事業報告

【法人本部】

新型コロナウイルスによる感染症が猛威を振るい、昨年から継続して感染症対策の強化を図って参りましたが、職員やご利用者の家族内感染から施設内感染へと拡大し、恩賜記念みどり園、ふようディサービス、みぎわ園、みぎわの里等とほぼ全ての施設に新型コロナウイルス感染症が入りました。

利用者の安全を第一に考え、通所施設は業務を休止した対応を図りましたので、運営面に多大な影響を与えた年となりましたが、陽性者の方々もほぼ重症化せず回復し、介護施設では5回目のワクチン接種(希望する職員含む)が終了しました。

今年も施設間の往来を制限し夏祭りなどの主要行事及び救命講習等の研修は施設単位に縮小して開催するなど、感染防止を主軸においての事業展開でした。職員や入所者等の方々には継続した感染対策の励行を求めて窮屈な生活を強いてしまいましたが、ご理解とご協力を得たことに大変感謝しております。令和5年5月より新型コロナウイルスは感染症法上の5類に分類され、重症化になり易い乳幼児や高齢者の安心と安全を守る対策が課題となりました。法人理念「自分を愛するように、あなたの隣人を愛せよ」の下、当法人は119年の歴史と共に地域社会との信頼関係を構築し、質の向上とガバナンスを高めていくことが重要と考え、透明性(情報公開)・倫理性(苦情解決)・組織性(内部監査・監事監査・外部監査)の積極的な取り組み姿勢、労務管理、地域貢献活動の実践を推進して参りました。また、創立120周年に発刊予定の「記念誌」は、寄稿文の収集が終わり法人の沿革、各施設紹介と作業を進めておりましたが、専従職員を配置せずに通常業務と兼務して資料等編集作業に当たっているため、遅延が生じ令和5年6月10日の式典予定日に間に合わせることができず、「創立記念式典」を半年位延期する決定に至りました。

平成29年4月に「労働時間の適正把握」が義務付けられることを受け「勤怠管理システム(客観的な記録を適正に把握するため)」を導入し、10月より本格施行して参りました。

さらに、本年度より業務用車輛を5台以上使用する事業所に課せられた飲酒検知については、アルコール検知時の数値記録の記載義務に対応できるアルコール検知システム(検査数値とチェック時の顔写真クラウド上に保存)を導入し法令に則した対応を図り、就業規則の改正や研修等の企画を立案しながら職員の働きやすい職場環境の構築と法令遵守という命題に取り組んで参りました。しかし、優れたシステムを導入しても使用者の認識の相違による誤操作のため適正な運用に至らず今後の課題が残りました。

職員の採用状況については、年度当初より採用活動を開始し養成校主催の施設紹介等のイベントに職員を積極的に派遣して、新卒の求人募集を図りました。しかし、高齢者施設では難しく、既卒者の中途採用やベトナムやミャンマーからの技能実習生の受け入れで人材不足解消を図る結果となり、芙蓉会で働く志を持って就職してくれた職員を大切に育てて行くための研修等の施策の充実が今後の課題となりました。

最後に、60年の永きに渡り社会福祉事業にご尽力されてこられました戸巻英美夫相談役が令和4年10月24日に88歳で静かに旅立ちされました。戸巻英美夫相談役は、戸巻俊一・静代夫妻の長男として昭和9年9月9日に誕生し富士育児院で施設利用者と共に育ち日本社会事業大学卒業後は、児童養護施設の指導員として24年また理事長として37年間、社会福祉法人芙蓉会を牽引されご自身の生涯を芙蓉会と共に過ごされてこられました。先代より利用者至上主義を継承され、子どもたちや介護が必要な方々の家庭に代わる場所として、安心・安全を担保できる施設のあり方と勤務する職員の待遇面について常に配慮を忘れない方でした。

【児童養護施設 ひまわり園】

令和4年度は、新たに小規模グループケア「もみの木」(定員6人)を敷地内別棟にて開設しました。

ひまわり園は平成13年度に地域小規模児童養護施設「ひろみ」(定員6人)、平成19年度に本体施設において小規模グループケア(定員8人)を開設しまし

たが、その後は新たな申請ができない時期が続きました。小規模グループケア設置の条件として新たに「独立した玄関を設置すること」が条件に加えられたため本体施設での開設は困難となり、平成2年に建設した高校生寮を改築して小規模グループケアとする申請を県に提出し、補助金を得て改築工事をおこない4月に事業を開始しました。

令和4年度は平成7年度に建て替えた本体施設の老朽化に伴い、大規模修繕を国、県に申請し、「次世代育成支援対策施設整備交付金」の補助金の認可が下りたため改修しました。この改修で、従前から懸念されていた老朽化による外壁タイル落下防止対策、空調設備更新工事をはじめ、児童居室のトイレの洋式化、居室のクロス張り替え、ホールの床張り替え、キッチン更新工事等を行いました。当初は自己資金40,000,000円、総工事費160,000,000円で計画しましたが、外壁工事は仮設足場を設置した打診調査が必要であったため予算が立てづらく、また申請経過において1階ディサービスセンター部分の外壁や足場設置費用は補助対象外であるという指摘を受け、結果的には自己資金が足りない状態になり、またその他の必要工事も生じたため、理事会の承認を得て人件費積立金8,000,000円を取り崩して施設整備費に充てました。自己資金が潤沢ではない中、外壁改修費用と空調設備改修工事が大きなウエイトを占めたため、内装工事に関しては十分とは言えず今後も補修必要箇所が残るため少しずつ改善していくと考えています。

国は施設の小規模かつ地域分散化を進めていますが、ひまわり園は定員90名で建設した本体施設の今後の在り方が大きな課題となっています。小規模グループケアの申請条件には「ユニット定員6名」「ユニット内で生活が完結する設備(トイレ・浴室・キッチン・児童居室)があること」「居間・食堂など交流スペースがあること」「独立した玄関があること」があり、ひまわり園の場合は5階建てという建物構造で、独立した玄関設置が最も大きな課題です。ベランダ側に玄関を設置するにしてもベランダからの落下防止対策を図る必要があります、大規模修繕の補助対象外となる改修が必要となるため予算確保が困難で、今後の課題です。また、本体施設の6ユニット全てを小規模化する場合「定員6名×6ユニット=36名」となるため、現状の児童数より10名近く減員としなければならないこと、同時に職員は増員しなければならないことなど、入所数の制限による収入減の中でのコントロールが難しい状況にあります。

一方で、地域小規模児童養護施設「ひろみ」(定員6名)は、5名の児童で4年度事業を開始しましたが、4年度末には児童数が3名となるため児童数の調整を図る必要がありました。候補となる児童を定め児童相談所との協議の上、児童の意志確認をおこないましたが、児童が拒否したため意見を尊重する形で計画を断念することになりました。その後小学校への新入学児童1人が本人の了解の下、ひろみに措置変更しました。ひろみは本体施設と学区が異なり移動に関して小学生以上は転校を伴うため、定員割れを起こした場合の対応の難しさが浮き彫りになりました。建物の老朽化という問題もあり課題となっています。

【地域小規模児童養護施設 ひろみ】(ひまわり園加算事業)

令和4年度、「ひろみ」は地域小規模児童養護施設の指定を受け(承認年月日:令和4年4月1日)、本体施設の支援のもと、24時間体制で入所児童の安全・安心の確保に努めました。令和4年度は、小学生1名、中学生1名、高校生2名、専門学校生1名の5名でスタートとなりました。

ひろみでは地域の中での生活体験を基盤に、家庭的な環境の中でより個別的な支援が出来るように努めました。また出来る限り子どもが日常生活において主体的に考え、取り組むことが出来るよう心掛けて支援しました。

新型コロナウイルス感染症への対応については、法人や本体施設の感染防対策に沿って、助言や指示を頂きながら、感染予防に努めました。年度内で子ども1名、職員2名が感染しましたが、感染が施設内で拡大するには至りませんでした。

昨年度も地域との関係を大切にすることを常に心がけて生活しました。新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、地域の行事や活動はほとんど出来ませんでしたが、職員子ども共に、日常の中での地域住民の方々との交流を大切

令和4年度 社会福祉法人芙蓉会 事業報告

にし、地域の方々と協力していく意識を持つよう努めました。

【企業主導型保育事業 さくら保育園】

令和4年度は園児3名でのスタートとなり、5月に1名、11月に1名(育児休業復帰職員)の園児をお預かりしました。

四季折々の行事等に触れながら子どもたちとのコミュニケーションを図ることを目的に、作品製作を毎月行いました。また、子どもたちの力作は保護者様にも見ていただき子どもの成長と喜びを分かち合い対話と信頼関係の構築に繋がりました。

基本的な発達の指標はありますか、少人数である強みを活かし、「興味のある事は積極的にチャレンジしてみよう」の思いで、年齢の小さな園児たちにも年上の園児たちと一緒に行動する場合には、制止する事もありましたが子どもの自発的な活動を大切に出来る事はのびのびを基本に見守る事を大切にして参りました。

感染対策強化として毎日1回以上アルコールタオルを用いて玩具、手すりや壁などを消毒また、閉園後にオゾンエアクリアを燐蒸しての室内の消毒、さらに玩具や布類を定期的に天日干しによる消毒をおこないました。

今年度は2名が卒園を迎え3月29日に卒園式を行いました。

【乳児院 恩賜記念みどり園】

令和4年度は定員を25名に変更して運営を行いました。年度当初は3月から続くコロナウィルスの施設内感染による隔離対策が継続している状態での始まりでした。

5月以降は入所児童のコロナウィルスの感染は防げておりましたが、令和5年に入り、職員家族の陽性者が増加し、1月11日より再び施設内で入所児への感染が始まり、2月初旬には一旦終息したのですが、2月24日に入所児の1名が発熱し、医療機関で抗原検査の結果陽性と診断され、4度目の施設内感染となりました。その後発熱した子どもがいるのですが、医療機関で検査して貰っても陰性判定が出て、コロナ感染ではないという診断がでているため、4度目の感染者は幼児1名でした。マスクが使用できない乳幼児が対象の施設ですので、感染対策の脆弱性は否めませんので、コロナウィルス感染症が第5類に分類されて巷の感染対策が緩和されてもマスクができず、言葉によるコミュニケーションが不十分な乳幼児は、感染後の後遺症の把握が難しいことなどから、今後も継続した感染防止対策を徹底してまいります。

令和4年度の入所児童は2名、一時保護児童は14名(内6名は措置に変更)昨年からの継続一時保護児童が3名おり、一時保護の延べ日数は793日、一人当たりの平均在籍日数は49.6日になりますが、コロナウィルスの施設内感染が複数回あったので、入所依頼を全て受けることができませんでした。

退所児童は13名、家庭引取1名・里親委託2名・施設変更10名(児童養護7名・障害児施設2名・他乳児院1名)13名中9名は3歳以上年少児で、全退所児童の平均在籍日数は1,044日(2.86年)でしたが、3歳以上9名の平均在籍日数は1,231日(3.37年)で前年度と変わらない状況です。

また、富士市から依頼を受けたショートステイは5件、乳児5名を34日間預かっておりますが、やはり施設内感染のためお断りをしたケースも2件ほどありました。

令和4年度も年度当初に3歳以上の年少児が9名在籍しておりましたので、今年度も原田幼稚園への通園対応を行いました。子どもの年齢や発達状況に即したより良い養育環境の構築と、措置費の減収という相反する課題に加え、年齢別保護単価の関係で、3歳以上の子どもが退所したことと3歳児単価から0~1歳児単価への変更や、常勤的非常勤職員を常勤の職員として換算して貰えない事態が起り、子どもが減っているのに、職員数が足りない状況が発生し、令和4年10月より、職員配置が、0~1歳児は子ども1.3名に対して職員1名の配置から1.6:1の配置に、3歳以上児は子ども3名に職員1名の配置から4:1の配置に修正されてしまい、年度末に約550万円の事務費の返還を行いました。

4月1日現在の在籍児童は、入所児童は12名、一時保護児童3名の15名ですが、5月中旬迄に2歳以上の年少児3名が退所しますので、定員まで13名程空きがある状況ですが、お預かりする子どもも達も発達が遅れている子どもや、身体機能に異常がありミルクの飲みが悪い子ども、自分で食べる意欲がみられない子どもなど、育てにくい手の掛かる子どもが増加しているため、多職種が連携して、多角的に子どもの状況を把握し、子ども達にとってより必要な支援の構築を目指す取組を心掛けています。

【特別養護老人ホーム みぎわ園】

令和4年度を総括するにあたり、第一にこの3年間新型コロナウィルス感染症に翻弄され、その対策、予防に職員全員が心を碎き、鬼気として感じ得た一年であったと思います。このような中、看護スタッフを始め、介護職を含めた全職員が一丸となり、お年寄りに「うつさない」とした心構えと、徹底した防禦姿勢の下で耐えて来られた事に感謝する所です。老人福祉に携わる者としての信念を強く感じました。

ただ在宅介護サービスに於いては、外界との接点も多く、感染流行の波を受けて前半期に営業の休止がありました。その後、単発での発症はあるもののその都度、予防対策を徹底しての難しい年度でもありました。結果在宅介護事業、特にデイサービスにおける経営には厳しいものがありました。しかし、これらも職員が協働して難局を乗り越え、大きなダメージには至らず運営が図られて終始した年度がありました。

大変な介護就労にあって、介護人材の不足は、如何ともし難い状況が続いている。これを打開する策として、海外からの技能実習生での補充を図るもの環境の違いも、言葉の壁も大きく、この教育には指導スタッフの努力が欠かせません。将来へ安定した就労を信じつつ、期待しての現状が続いている。介護職分野でこのような状況ではありましたが、看護職分野では職員の充足が図られ、各在宅事業所への配置で、新たな保険加算の取得が可能となった面もありました。

特養部門は、平成27年の介護保険法の改定後、国が入居基準介護度3以上とした影響もあり、入退居者数の頻度(年平均22人~23人)が上がっています。一つに、病的な身体を抱えた方々への介護ケアが濃く、在居年数も1年足らずの方での入替わりが多く介護スタッフからすると、慣れてきたときに終末を迎えるとした介護、看護現場での苦労が増えたように思います。本来、特養ホームでの役目としていた終の棲家、生活の場が変わってきたこと、「看取りの場」としてご家族も認知されてきたことに、切なさを感じます。

このような中、今年は特に外に出る機会のない分、介護、看護、多職種が協力して「楽しい場の提供」を心掛けてきました。入居生活への潤いを提供したいとして、大型TVに入れ替えて、今の時代に則したインターネット利用で、懐かしい歌番組で歌謡曲がユニット内に流れている風景が見受けられています。また様々細かに、食のイベントを各ユニット、在宅サービスで同様に企画され、生活にメリハリをつけたいとしての工夫もスタッフ協働での賜物と評価される所です。

ふようデイサービスセンター移転新築に向けては、第一期工事みぎわ園西面に敷設する進入道路も8月着工、1ヶ月程遅延で翌年1月に完成をしています。工期遅延理由に基礎掘削時、頑強な溶岩層に阻まれた結果がありました。在宅サービス全般で送迎用車輛の入替と増車を図り、送迎時の利便性を図りました。ただ多少、車輛不足は否めません。

地域防災については、風水害対策で県東部地域の県防災用備品収納倉庫の基地設置も整い、その効果が7月静岡市清水地区での水害支援に役を果たしたようです。

今年度後期には、富士山噴火のハザードマップの改定を受け、同防災マニュアルの検討を進める事も課題としてあった年度がありました。

法人事業活動計算書

(自)令和4年4月1日 (至)令和5年3月31日

法人事業活動計算書

(自)令和4年4月1日 (至)令和5年3月31日

(単位:円)

(単位:円)

| 勘定科目 | 予算(A) | 決算(B) | 差異(A)-(B) | 備考 | 年度決算(A) | 前年度決算(B) | 増減(A)-(B) |
|---------------------------------------|---------------|---------------|--------------|----|---------------|---------------|--------------|
| 介護保険事業収入 | 773,904,000 | 774,567,850 | △ 663,850 | | 774,567,850 | 768,011,918 | 6,555,932 |
| 児童福祉事業収入 | 519,424,000 | 511,143,424 | △ 1,321,424 | | 511,143,424 | 493,508,046 | 27,505,378 |
| 保育事業収入 | 17,638,000 | 19,030,887 | △ 1,392,887 | | 19,030,887 | 21,722,491 | △ 2,694,604 |
| その他の事業収入 | 574,000 | 993,090 | △ 419,000 | | 993,090 | 464,000 | 529,000 |
| 借入金利息補助金収入 | 19,000 | 19,000 | 0 | | 5,100,236 | 6,069,096 | △ 968,860 |
| 入 経常運営預金収入 | 5,323,000 | 5,100,236 | △ 222,764 | | 1,310,835,397 | 1,279,815,551 | 31,019,846 |
| 受取利息配当金収入 | 1,173,000 | 1,113,839 | △ 59,161 | | | | |
| その他の収入 | 8,417,000 | 8,407,510 | △ 9,490 | | 972,195,021 | 901,140,413 | 31,054,608 |
| 事業活動収入計(1) | 1,326,472,000 | 1,320,375,746 | △ 6,096,254 | | 161,613,055 | 161,613,055 | 0 |
| 人件費支出 | 970,763,000 | 971,580,005 | △ 817,005 | | 173,376,151 | 106,850,312 | 66,527,889 |
| 事業費支出 | 169,757,000 | 166,898,847 | △ 2,859,153 | | 2,571,633 | 2,719,358 | △ 177,725 |
| 事務費支出 | 177,735,000 | 173,389,546 | △ 4,344,454 | | 81,980,970 | 83,247,334 | △ 1,262,364 |
| 利用者負担料金額 | 2,650,000 | 2,571,633 | △ 78,367 | | △ 93,395,342 | △ 45,413,374 | △ 47,979,968 |
| 出 支払利息支出 | 779,000 | 780,129 | △ 1,129 | | 1,304,250,642 | 1,250,217,128 | 54,032,514 |
| その他の支出 | 4,937,200 | 4,548,425 | △ 388,775 | | 6,684,755 | 29,598,423 | △ 23,013,668 |
| 事業活動費支出計(2) | 1,326,619,200 | 1,319,768,585 | △ 6,850,615 | | 10,060 | △ 38,000 | △ 19,940 |
| 事業活動資金収支差額(3) = (1) - (2) | △ 147,200 | 607,161 | △ 754,361 | | 1,113,339 | 1,052,350 | 61,459 |
| 施設整備等補助金収入 | 118,685,000 | 122,340,000 | △ 3,655,000 | | 8,407,510 | 6,783,050 | 1,624,460 |
| 施設整備等収入計(4) | 118,685,000 | 122,340,000 | △ 3,655,000 | | 9,546,349 | 7,873,430 | 1,668,919 |
| 設備資金借入元償還支出 | 35,428,000 | 35,428,000 | 0 | | 780,129 | 1,086,779 | △ 305,650 |
| 支 に固定資本等支出 | 144,341,000 | 142,365,772 | △ 288 | | 4,548,425 | 4,702,222 | △ 153,797 |
| 支 によるファイナンス・リース債務の返済支出 | 684,000 | 681,288 | △ 288 | | △ 5,285,654 | 5,288,001 | △ 459,417 |
| 施設整備等支出計(5) | 180,453,000 | 178,478,060 | △ 1,974,940 | | 4,211,195 | 2,085,429 | △ 2,196,366 |
| 施設整備等資金収支差額(6) = (4) - (5) | △ 61,768,000 | △ 56,138,060 | △ 5,629,940 | | 10,796,350 | 31,683,852 | △ 20,887,302 |
| その他の資金回収入 | 131,000 | 126,000 | △ 5,000 | | 122,340,000 | 20,615,000 | 101,725,000 |
| その他の資金回収入 | 98,641,000 | 94,328,390 | △ 4,312,610 | | 0 | 866,600 | △ 666,600 |
| 他の活動による収入 | 286,000 | 285,640 | △ 360 | | | 275,201 | 171,639 |
| その他の活動収入計(7) | 99,658,000 | 94,740,030 | △ 5,178,970 | | 123,786,840 | 21,559,804 | 101,230,039 |
| 支 積立資産支出 | 49,716,000 | 29,738,129 | △ 20,007,571 | | 10 | 10 | 0 |
| 支 その他の活動支出計(8) | 49,716,000 | 29,738,129 | △ 20,007,571 | | 122,340,000 | 20,615,000 | 101,725,000 |
| 子 備費支出(10) | 49,312,000 | 65,001,601 | △ 15,689,601 | | 123,465,010 | 29,141 | 92,325,859 |
| 子 備費支出 | 1,319,000 | 1,046,800 | △ 272,200 | | △ 678,170 | 686,650 | △ 1,363,320 |
| 当期既存資金収支差額合計(11) = (3) + (9) - (10) | △ 13,650,000 | 9,470,702 | △ 23,120,702 | | 10,118,380 | 32,369,502 | △ 22,251,122 |
| 前期未支払資金残高(12) | 392,572,122 | 302,672,122 | △ 90,900 | | 607,593,154 | 684,632,970 | △ 17,139,816 |
| 当期末未支払資金残高(11) + (12) | 288,922,122 | 312,042,824 | △ 23,120,702 | | 677,511,534 | 716,302,472 | △ 39,390,938 |
| (注) 予備費支出△272,200円は下記の科目に充当し使用した額である。 | | | | | 0 | 0 | 0 |
| 予備費支出 2,200円、施設整備等積立資産支出し 270,000円 | | | | | 92,005,406 | 11,000,000 | 81,000,000 |
| △ その他の積立金額立額(15) | | | | | 27,585,429 | 60,514,724 | △ 32,929,095 |
| △ その他の活動資金差額(16) | | | | | 741,931,311 | 667,393,154 | 74,538,157 |

| 勘定科目 | 予算(A) | 決算(B) | 差異(A)-(B) | 備考 | 年度決算(A) | 前年度決算(B) | 増減(A)-(B) |
|--------------|--------------|-------|-----------|----|---------------|---------------|--------------|
| 介護保険事業収益 | △ 663,850 | | | | 774,567,850 | 768,011,918 | 6,555,932 |
| 児童福祉事業収益 | 8,280,576 | | | | 511,143,124 | 493,508,046 | 27,505,378 |
| 保育事業収益 | △ 1,392,687 | | | | 19,030,887 | 21,722,491 | △ 2,694,604 |
| その他の事業収益 | △ 419,000 | | | | 993,000 | 464,000 | 529,000 |
| 受取利息配当金収益 | 0 | | | | 5,100,236 | 6,069,096 | △ 968,860 |
| サービス活動収益 | △ 419,000 | | | | 1,310,835,397 | 1,279,815,551 | 31,019,846 |
| 人件費 | △ 1,392,687 | | | | 1,310,835,397 | 1,279,815,551 | 31,019,846 |
| 事業費 | △ 2,650,000 | | | | 972,195,021 | 901,140,413 | 31,054,608 |
| 事務費 | △ 388,775 | | | | 677,511,534 | 684,632,970 | △ 17,139,816 |
| 利用者の負担額 | △ 78,367 | | | | 123,465,010 | 122,340,000 | 101,725,000 |
| その他の費用 | △ 288 | | | | 678,170 | 686,650 | △ 1,363,320 |
| 定期賃借料金等特別積立金 | △ 5,285,654 | | | | 0 | 0 | 0 |
| 特別積立金等特別積立金 | △ 459,417 | | | | 607,593,154 | 684,632,970 | △ 17,139,816 |
| 特別積立金等特別積立金 | △ 2,196,366 | | | | 677,511,534 | 716,302,472 | △ 39,390,938 |
| 特別積立金等特別積立金 | △ 1,363,320 | | | | 0 | 0 | 0 |
| 定期賃借料金等特別積立金 | △ 32,929,095 | | | | 92,005,406 | 11,000,000 | 81,000,000 |
| 特別積立金等特別積立金 | △ 74,538,157 | | | | 741,931,311 | 667,393,154 | 74,538,157 |

法人事業貸借対照表

(自)令和4年4月1日 (至)令和5年3月31日

(単位:円)

(単位:円)

財産目録

令和5年3月31日在

(単位:円)

(単位:円)

※令和4年度事業・決算報告は、紙面の都合上縮小し向きを変えて掲載しておりますことを、お詫び申し上げます。
事業・決算報告は、当法人ホームページでも閲覧できますのでご覧下さい。

| 科 目 | 資 産 | 当 年 度 末 | 前 年 度 末 | 増 減 | 科 目 | 当 年 度 末 | 前 年 度 末 | 增 減 | 部 部 | |
|---------------|---------------|---------------|---------------|----------------|---------------|---------------|---------------|-----|-----|-----|
| | | | | | | | | | 資 本 | 負 債 |
| 流動資産 | | | | | | | | | | |
| 現金預金 | 513,177,644 | 342,420,067 | 70,757,577 | 流动負債 | 278,155,108 | 136,498,233 | 141,656,875 | - | - | - |
| 事業未払金 | 270,907,168 | 212,890,455 | 58,016,713 | 事業未払金 | 29,719,421 | 25,948,161 | 3,771,260 | - | - | - |
| 事業未収金 | 128,559,746 | 115,981,858 | 12,587,888 | その他の未払金 | 157,600,000 | 195,000 | 157,195,000 | - | - | - |
| 未収金 | 661,402 | 669,574 | △ 8,172 | （年内）以前年度支拂定 | 15,059,000 | 35,428,000 | △ 20,368,000 | - | - | - |
| 未収補助金 | 113,095,453 | 12,241,490 | 100,763,963 | 1年以内控除する（△～）債務 | 684,288 | 684,288 | 0 | - | - | - |
| 貯蔵品 | 0 | 30,000 | △ 30,000 | 未払費用 | 11,012,893 | 10,897,228 | 185,665 | - | - | - |
| 立替金 | 0 | 4,430 | △ 4,430 | 預り金 | 417,217 | 0 | 417,217 | - | - | - |
| 前払金 | 0 | 418,000 | △ 418,000 | 職員預り金 | 2,432,566 | △ 77,267 | - | - | - | - |
| 前払費用 | 33,875 | 69,260 | △ 35,385 | 前受収益 | 0 | 0 | 0 | - | - | - |
| 1年以内回収予定の固定資産 | 0 | 115,000 | △ 115,000 | 賃貸引当金 | 61,277,000 | 60,653,000 | △ 624,000 | - | - | - |
| 固定資産 | 2,254,706,872 | 2,260,613,008 | △ 6,907,736 | 固定負債 | 115,893,298 | 131,765,370 | △ 15,872,672 | - | - | - |
| 基本財産 | 1,614,189,309 | 1,504,000,829 | 19,789,430 | 設備資金借入金 | 96,085,000 | 111,144,000 | △ 15,059,000 | - | - | - |
| 土地 | 157,412,898 | 157,412,898 | 0 | リース債務 | 57,024 | 741,312 | △ 684,288 | - | - | - |
| 建物 | 1,157,076,461 | 1,137,287,031 | 19,789,430 | 递延税金付引当金 | 19,751,271 | 19,880,058 | △ 128,781 | - | - | - |
| その他の固定資産 | 640,216,513 | 665,913,679 | △ 25,667,166 | 負債の部合計 | 394,018,406 | 268,263,603 | △ 125,784,803 | - | - | - |
| 土地 | 70,300,165 | 70,300,166 | 0 | 純 資 産 | △ 2 | - | - | - | - | - |
| 建物 | 4,832,197 | 5,487,219 | △ 655,022 | 基本金 | 345,258,921 | 315,258,921 | 0 | - | - | - |
| 運作 | 4,969,594 | 5,647,628 | △ 678,037 | 固定補助金等特別積立金 | 857,250,062 | 828,303,404 | 28,946,658 | - | - | - |
| 構築物 | 46,849,367 | 11,198,513 | 35,650,854 | その他の中積立金 | 429,394,816 | 193,814,593 | △ 64,119,777 | - | - | - |
| 機械及び装置 | 9,044,747 | 9,531,861 | △ 487,114 | 人件費積立金 | 94,500,000 | 102,500,000 | △ 8,006,000 | - | - | - |
| 車輌運搬具 | 9,172,039 | 6,880,188 | 2,291,851 | 施設整備等積立金 | 203,270,000 | 200,000,000 | △ 66,730,060 | - | - | - |
| 器具及び備品 | 30,225,202 | 29,015,998 | 1,209,204 | 施設運営費積立金 | 82,495,323 | 82,498,739 | △ 3,406 | - | - | - |
| 建没仮勘定 | 4,951,000 | 4,459,000 | △ 452,000 | 植松茂子奨学積立金 | 48,129,183 | 47,815,854 | 313,629 | - | - | - |
| 修理リース資産 | 694,288 | 1,388,576 | △ 694,288 | 記念事業積立金 | 1,000,000 | 1,000,000 | 0 | - | - | - |
| 権利 | 1,150,372 | 1,336,918 | △ 186,546 | 次期過渡活動準備差額 | 741,931,311 | 667,393,154 | 74,538,157 | - | - | - |
| ソフトウェア | 640,750 | 969,260 | △ 328,510 | （うち）当期活動準備差額 | 10,118,389 | 32,369,502 | △ 25,251,122 | - | - | - |
| 投資有価証券 | 59,000 | 50,000 | 0 | 長期貸付金 | 1,795,000 | 2,931,000 | △ 1,136,000 | - | - | - |
| 追繳金付引当資産 | 19,751,274 | 19,880,058 | △ 128,781 | 人件費積立資産 | 94,500,000 | 102,500,000 | △ 8,000,000 | - | - | - |
| 施設整備等積立資産 | 293,270,000 | 260,000,000 | △ 36,730,000 | 施設運営費積立資産 | 82,495,333 | 82,498,739 | △ 3,406 | - | - | - |
| 植松茂子奨学積立資産 | 48,129,483 | 47,815,854 | 313,629 | 記念事業積立資産 | 1,000,000 | 1,000,000 | 0 | - | - | - |
| 普通預金 | 4,983,585 | 4,983,585 | 0 | 差入保証金 | 180,000 | 180,000 | 0 | - | - | - |
| 長期間預貯金 | 1,239,119 | 1,843,086 | △ 603,967 | 純資産の部合計 | 2,373,845,110 | 2,394,770,072 | 39,065,038 | - | - | - |
| 資産の部合計 | 2,767,885,616 | 2,804,003,676 | △ 164,849,841 | 負債及び純資産の部合計 | 2,767,885,616 | 2,665,453,675 | 164,849,841 | - | - | - |

・ありがとう・

■青山浩章
■飯嶋隼人
■(株)ウラタモータース
■小穴明久
■近藤鋼材グループ
エルフィーフリーン(株)
■佐藤昌之
■白井ひろみ
■(一社)親切会 中部支部
■鈴木燃料店 鈴木勝美
■清都

たくさんのご寄付をいただきありがとうございました。お礼を申し上げるとともに、ここに紹介させていただきます。(敬称略)

■沼津勝和クリニック有志
■(同)そらとふじ
■高野由梨
■(株)大松園
■土屋医院 土屋厚子
■西田生子
■日軽産業(株)
■濱田隆彦
■美影館
■ピジョンホームプロダクツ(株)
■深澤賀一

■福祉新聞社
■堀川ちと子
■本多安子
■丸山商事(株) 丸山正
■松本珠季
■マルハン荒田島店
■三浦安寿
■緑ヶ丘園芸
■村島和代
■渡辺美枝子
■他 匿名14件

(R5.4.1~6.30まで)

後援会からのお知らせ

多くの方々から後援会費を送金いただき、心より感謝を申し上げます。また新規のご入会も随時受け付けております。子どもたちのため、おとしよりのために、あたたかいご支援いただけますよう、ご入会をお願いいたします。

会費の振込先は下記の口座にて承ります。

年間会費
個人会費 1□ 1,000円 会 社
団体会員 1□ 3,000円

振込先(郵便局振替口座)

・□座番号 00880-0-2423 ・□座名称 芙蓉会後援会

何口でも結構です

他の金融機関からのお振込を受ける際にご指定いただく口座情報は、右記のとおりとなります。

銀行名 ゆうちょ銀行
店名 ○八九店
預金種目 当座
□座番号 0 0 0 2 4 2 3
□座名義 フヨウカイコウエンカイ

寄付のお願い

芙蓉会は、皆様方のご支援に支えながら今日を迎えております。一人ひとりの想いのこもったご寄付は、社会福祉事業を推進していく上で大きな支えとなっております。年間を通して寄付金をお受けしておりますので、何卒ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

今後とも変わらぬご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げる次第でございます。

振込先

銀行名 静岡銀行 吉原北支店
預金種目 普通預金
□座番号 0 8 1 7 1 6 9
□座名義 社会福祉法人芙蓉会 理事長 内藤好彦
シャカイフクシホウジンフヨウカイ
リジチョウ ナイトウヨシヒコ

首安箱

ひまわり園

●保護者の方より

内容:四十九日に子どもたちを参加させたい。

→対応:家庭の事情によるものなので、参加可能という事でお返事をしてあります。

●保護者の方より

内容:面会時に子どもの顔に傷があった

→対応:同室の子どもとのトラブル時に負った傷の為、経緯の説明と、謝罪をさせて頂きました。

●保護者の方より

内容:参観日に行きたい。

→対応:ひまわり園のルールとして決まっている事を再度伝えさせて頂きました。

編集後記



「芙蓉」81号を最後までご覧いただき、ありがとうございました。

新型コロナウイルスが5類に移行し、少しずつ制限が緩和されてきています。みどり園では近隣へのお散歩に行けるようになり、子どもたちは目をキラキラさせながら楽しくお散歩しています。制限が緩和された中で、それぞれの施設で今まで以上に子どもたちや利用者様に楽しい経験をしてもらえるよう、工夫していかたいと思います。